

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 24 年度第 3 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 25 年 2 月 6 日(水) 午後 3 時から午後 5 時まで
- II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、会議室
- III. 参加者：高橋担当理事、田宮委員長、竹内委員、及川委員、金子委員、家本委員、  
枋尾委員(Skype)、渡辺アドバイザー(Skype)、山本アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. 講習会実施に向けての検討について

- ・ 開会後の会場校挨拶はセンター長にお願いすることにている。
- ・ 共通講義の会場については、参加人数の関係もあり、コースと同じ建物の B3 2 教室に変更することにした。
- ・ 共通講義の時間設定についてスケジュール表で確認を行った。
- ・ 共通講義でアクティブ・ラーニングをテーマにしていることで、インタラクティブ性、予習の必要性、授業マネジメントの重要性以外に以下の意見交換を行った。
- ・ 学生も就職へ到達目標をもうけて学びをする必要がある、何が身に付いたか言える学生に育てる必要がある。
- ・ スモールステップ、プロセスを持って行う必要がある。アクティブ・ラーニングは教育手法のひとつ、正しい答えをピックアップすることで行動分析的な考えが必要。学生が意見を言って正しいか次の問いでは正解率が向上する。
- ・ 経済界ではオープンイノベーション、グローバル人材育成を心がけてはどうか。
- ・ アクティブ・ラーニングでは受け止めていけることができるかを育てることで教員のチームが必要になっている。
- ・ ベーシックなナレッジでメディア教育も必要不可欠である。
- ・ 知識とそのものがどう使えるかが、かけ離れている、その不足分を学びで補う。
- ・ プレゼンテーションコースは、パワーポイント基本技術の確認から双方向授業・能動学修に向けた授業計画作りの検討を行い、それをもとに授業プレゼンテーションの作成を演習で実施し、作成したものを模擬授業として発表する計画にしている。
- ・ プレゼンテーションアドバンスドコースでは、最新のプレゼンテーション手法を紹介し、プレゼンの視点を再確認する。手法を使って自分の授業をアレンジする実習からズームング・プレゼンテーション・エディタのツールで教材を作成する演習を行う。その他、LMS や無線を利用した携帯端末の利用なども紹介することを計画している。無線の設定や利用可否については現地と調整を行う。
- ・ 授業デザインでは、双方向授業・能動学修に向けたデザインの方法など紹介し、3 人のグループで特定のテーマで PBL、TBL の参加者による体験を進める、作成した計画を発表して相互評価を行うことにしている。

V. 今後のスケジュール

- ・ 参加者資料の原稿を各担当で作成し印刷を後日行う。
- ・ 開催の前日夕方には最終の打合せを実施する。